

## ソフト・平林金属クに期待の戦力

# 右腕・小山(日体)加入

## 世界選手権でも活躍

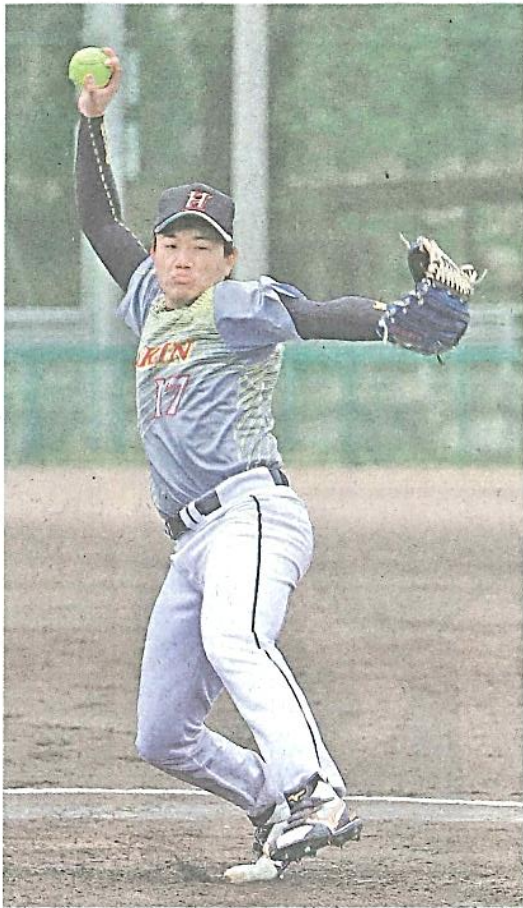
ソフトボール男子の平林金属ク(岡山市)に今季、日体大から大型右腕が加入した。2019年世界選手権で活躍した小山玲央(22)。「目標は無敗」と語る日本代表の次代のエースは大きな戦力になりそうだ。

180センチ、87キロ。マウンドに立つと威圧感がある。世界トップクラスの最速135キロを誇るカットボールが最大の武器だ。学生で唯一代表入りした2年前の世界選手権は平林金属クの大黒柱・松田光と二枚看板を張り、王国ニュージー

ランドに2勝するなど銀メダル獲得に貢献した。

大会にコーチとして帯同した吉村啓監督は「22歳と思えないほどソフトを熟知している」と評す。打撃センスも備え、大学ではコロナ禍で代替大会となった昨年を含めインカレ「4連覇」を達成した。

世界ジュニア選手権で日本を35年ぶりの優勝に導いた長崎・佐世保西高時代から将来を嘱望されてきた。「トップレベルの選手の中で能力を高めた」。国内屈指の強豪を進路に選んだのは松田以外にも



最速135キロのカットボールを武器とする小山玲央。1年目からの活躍が期待される＝HIRAKINライズ球場

### 23歳以下で代表歴

「ヒラキンに入るのが夢だった」という大阪市出身で中大出の右腕歳川幹大(22)は175センチ、84キロ。23歳以下日本代表歴があり、切れのあるドロップを操る。中学生の時、平林金属クの試合を見て選手たちの生き生きとしたプレーに魅了された。「投手陣の層は厚いが、自分の持ち味をアピールする」と1年目から登板のチャンスをつかみ取る。

(田井香菜子)

### 中大出の歳川も



歳川幹大

遊撃手根良祐、二塁八角光太郎らがジャパンに名を連ねているからだ。9日開幕の日本リーグで社会人の第一歩を踏み出す。「打者との駆け引きや状況に応じた投球を磨いていく」。来年のワールドカップ(世界選手権から改称)も視野に地力を高める。

今年の新人は2人で、もう一人は